

みんなで盛りあげよう!  
**トキめき新潟国体** 38  
 トキはなて 君の力を 大空へ

国体まで、  
**あと 47日**



**糸魚川市の炬火名は「ジオと翡翠の火」**

8月1日(土)、長者ヶ原遺跡で炬火採火式が行われました。炬火名は20件の応募の中から、審査により市内東寺町在住の倉石笑子さん命名の「ジオと翡翠の火」に決定しました。

火は、縄文時代の衣装を身にまとった長者ヶ原遺跡友の会(土田孝雄会長)の会員の手により、ヒスイを使った火打石で起こされ、火焰土器に移されました。

炬火トーチへの点火後、米田市長が第1走者になって炬火リレーを開始しました。その後、17人の走者へ引き継がれ、最後は無事に糸魚川おまんた祭り本部前に設置した点火台にともされました。

この火は、9月26日(土)に新潟市で開催される国体開会式で県内全市町村の火とともに1つに集火されます。



火起こしの瞬間



糸魚川駅前での炬火パレード



**国体音楽で活躍されている人たち**

トキめき新潟国体開・閉会式などで使用する式典音楽に携わる糸魚川市出身者をご紹介します。

—— 新潟国体で使用する式典音楽の作・編曲者

**建部 知弘さん**

作・編曲家  
 糸魚川吹奏楽団音楽監督  
 神奈川県相模原市在住  
 糸魚川市生まれ  
 糸魚川中学校、糸魚川高等学校卒



建部さんは、駒澤大学在学中にサクソフォンを富岡和男氏に、作・編曲を岩井直溥と上埜孝の両氏に師事し、多数の吹奏楽のための編曲やオリジナル作品を発表、海外でも高く評価されています。

トキめき新潟国体では、入場行進曲「新潟ゆかりの曲メドレー(ポップス編)」や炬火関連曲「I(入場・点火)」、「II(分火・納火)」などの曲を手掛けています。

—— 新潟国体開会式での式典音楽隊の指揮担当者

**石坂 幸夫さん**

新潟県警察音楽隊楽長  
 新潟市在住  
 糸魚川市生まれ  
 糸魚川中学校、糸魚川高等学校卒



石坂さんは、中学・高校在学中、吹奏楽部でユーフォニアムを担当され、平成元年に新潟県警察勤務となり、平成16年に楽長に就任されました。

県警音楽隊は、皆さんと警察を結ぶ「音の架け橋」として県内各地での交通安全運動や地域安全活動で演奏活動を行っています。

当市では、日本海クラシックカーレビューでのパレード及び演奏をしていただいています。